

SALJOL (サルジョル)

カーボン歩行車 取扱説明書

このたびは、SALJOL カーボン歩行車をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
本製品のご使用前には必ず「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全に使用してください。
「取扱説明書」は必要なときに取り出しやすい場所に保管してください。
使用環境や使用者の身体状況が変化した際には再度お読みください。



目次

| | |
|---------------------------|-----|
| 安全にお使いいただくために | 1 |
| 使用上の注意 | 2~3 |
| 各部の名称 | 4 |
| 使い方 | |
| ・歩行車を広げる | 5 |
| ・歩行車を折り畳む | 5 |
| ・ハンドル高さ調整 | 5 |
| ・背ベルトの取り付け | 6 |
| ・ブレーキの使い方 | 7 |
| ・パーキングブレーキの使い方 | 7 |
| ・ブレーキを調整する | 8 |
| ・スローダウンブレーキ (抵抗器) の使い方 | 9 |
| ・杖ホルダーの使い方 | 10 |
| 日常のお手入れ | 11 |
| 仕様 | 12 |
| 保証書 | |



ラックヘルスケア株式会社

安全にお使いいただくために

- SALJOL カーボン歩行車は使用者自身の歩行を補助する為のものです。用途以外の使用はしないでください。
- 自力歩行できない方は使用しないでください。
- ハンドル操作、及びブレーキ操作ができない方は使用しないでください。
- 歩行の際は、必ずハンドルグリップを持って使用してください。
- 使用者に合ったハンドルの高さに調節してからご使用ください。
- 砂、泥、水たまりなどのある場所での使用は故障の原因となりますのでおやめください。
- 交通量の多いところ、混雑しているところ、また夜間の使用はできるだけ避けてください。
- 踏切などの溝を越える際は、前輪を挟み込まないように前輪を上げて操作してください。



警告

この表示項目を守らずに誤った取扱いをすると重大な事故につながり、使用者が重傷を負う恐れがあります。



注意

この表示項目を守らずに誤った取扱いをすると使用者が傷害を負ったり、物的損害をこうむる恐れがあります。

使用上の注意

1.歩行の際について

警告

- バスケット以外のところに荷物を載せたり、ハンドルに吊り下げますと、バランスを崩し転倒する恐れがありますので、絶対に避けてください。
- バスケットに乳幼児を乗せたり、座面に人を乗せたまま歩行しないでください。バランスを崩して転倒し、ケガをさせる恐れがあります。
- 雨や雪、風の強い日、凍結している道、滑りやすい場所でのご使用はバランスを崩し転倒する恐れがありますので、絶対に避けてください。
- 座面に立ち上がったり、踏み台代わりにご使用になりますと非常に危険ですので絶対にしないで下さい。バランスを崩し転倒する恐れがあります。
- 傘をさしながら、または片手に荷物を持ちながら、片手ハンドルでの歩行はしないで下さい。バランスを崩し転倒する恐れがあります。
- 背ベルトを持って立ち上がったり、持ったまま使用しないで下さい。過度な力が繰り返し加わると、亀裂などに発展しベルト破断による事故につながる恐れがあります。
- ブレーキワイヤーが障害物などに引っ掛からないように注意してご使用ください。
- ハンドルの高さは目盛りの範囲内でご使用ください。
- 歩行時に杖ホルダーから杖が落ちないように注意してください。

注意

- 小さな凸凹や段差のある路面を歩行する際は、前方に転倒しないように前輪を上げて操作してください。
- 使用中に身体を乗り出すなどして、安全性を損なうことのないように操作してください。
- バスケットには軽い小物のみを入れてください。（5kg以内）
- ブレーキを握った状態、ならびにブレーキロックをした状態のままで歩行しますと、タイヤが異常にすり減って危険です。このようなご使用は避けてください。

2.座る際について

警告

- 座る際は、ブレーキが完全にロックされた状態で車輪が動かないことを確認してください。車輪が動くとバランスを崩し、転倒する恐れがあります。
- ブレーキがロックされた状態でも背ベルトに寄りかかるような座り方をしないでください。車輪が滑って転倒する恐れがあります。
- 坂道で腰をかけると大変危険です。バランスを崩し転倒する恐れがありますので、決してしないでください。
- 座面に座った時、本体を動かさないようにしてください。バランスを崩し転倒する恐れがあります。
- ブレーキロックが効いた状態でも、ハンドルの片側に寄りかかって座ると車輪が滑って転倒する可能性があります。両手でハンドルをしっかり持ち、中央にお座りください。
- 立ち上がる際にハンドルの片方だけに体重をかけると転倒する恐れがあります。両方のハンドルにバランスよく体重をかけ、ゆっくり立ち上がってください。

3.保管・搬送の際について

警告

- 背ベルトに過度な力が繰り返し加わると、傷、割れ、亀裂などに発展し、ベルト破断による事故につながる恐れがあります。
- ブレーキワイヤーを持って歩行車本体を持ち上げないでください。ブレーキワイヤーが外れ、ブレーキがロックされた状態になる恐れがあります。

注意

- 背ベルトに過度な力が繰り返し加わると、傷、割れ、亀裂などに発展し、ベルト破断による事故につながる恐れがあります。梱包する際は必ず背ベルトを取り外してください。

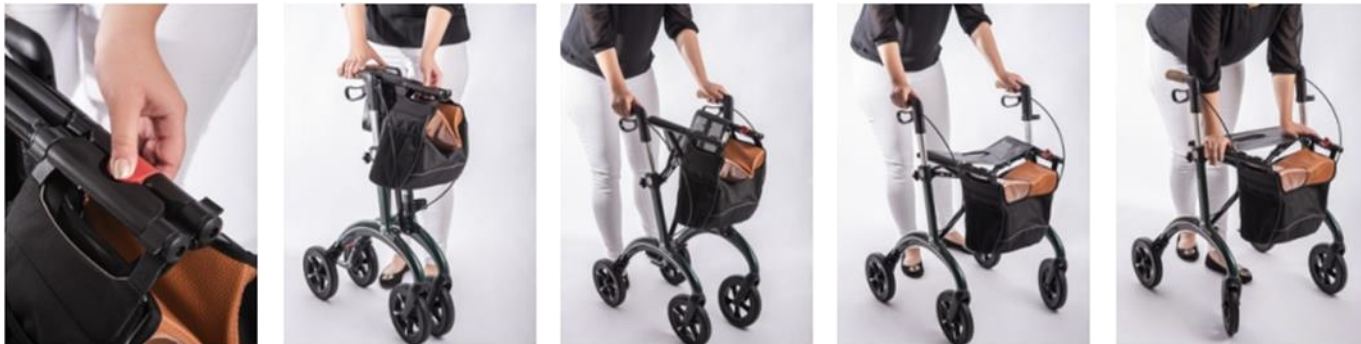
各部の名称



使い方

●歩行車を広げる

- 赤いロックボタンを押し、折り畳みを解除してください。
- 両ハンドルを持ち平行に押し広げます。そして、両側のシートチューブを「カチッ」という音がするまで押し込んでください。
- シートチューブを上を持ち上げ、持ち上がらなければ製品は正しく設定されています。



⚠ 警告 歩行車を広げた後、シートチューブが固定され緩みがないか、ご確認ください。

●歩行車を折り畳む

- 座面シートについている折り畳みストラップを引き、ロックを解除してから折り畳みます。
- 固定用の赤いロックボタンが「カチッ」と音がするまで折り畳みます。

●ハンドル高さ調整

- ハンドル高さ調整ネジを緩めてください。
- 肩をリラックスさせた状態で歩行車の真後ろに立ち、手首の位置にハンドルの高さを合わせた後、高さ調節ネジをしっかり締めてください。
- ハンドルの高さは目盛りの範囲内でご使用ください。



●背ベルトの取り付け



ハンドル内側の固定ボルトを 3mm の六角レンチを使用して取り外します。



背ベルトに同封されている背ベルト取付用ボルトを使用し、背ベルトをハンドルに取り付けてください。



背ベルトは、取り付け部の後方の穴にボルトを通しハンドルに取り付けてください。



ハンドル固定ボルト
(M5×10mm)

背ベルト取付用ボルト
(M5×15mm)

背ベルトの取り付けには、必ず同封されている背ベルト取付用ボルトを使用してください。



警告

背ベルトを持って立ち上がったたり、持ったまま使用しないでください。過度な力が繰り返し加わると、亀裂などに発展しベルト破断による事故につながる恐れがあります。

●ブレーキの使い方



ブレーキをかける場合はブレーキレバーをハンドルに向かって上向きに引いてください。



歩行車を安全に停止させるためにブレーキレバーを引き続けてください。



ブレーキを解除し再び歩き始める場合はブレーキレバーから手を放してください。

●パーキングブレーキの使い方



パーキングブレーキをかけるにはブレーキレバーを「カチッ」と音がするまで下に押し込みます。



パーキングブレーキを解除するにはブレーキレバーを上を引いてください。



警告 歩行車に座る際は、必ずパーキングブレーキをかけてください。

●ブレーキを調整する



ブレーキの調整は、ブレーキブロックにあるネジを回転させて調整します。



下側のナットを緩めるとブレーキの調整が可能となります。



上側のネジを回転し、ブレーキを調整してください。ブレーキを調整した後は、下側のナットを締めて、緩みがないようにしてください



警告

ご使用前には、ブレーキが効いているかを必ず確認してください。

※万一、ブレーキ調整が不可能な場合や不明な場合には、お買い求めいただいた販売店か弊社までご連絡ください。

連絡先：ラックヘルスケア株式会社 06-6244-0636

●スローダウブレイキ（抵抗器）の使い方



後輪内側にある赤いレバーを下げると後輪の回転速度を調整することができます。



解除する場合は赤いレバーを上げてください。



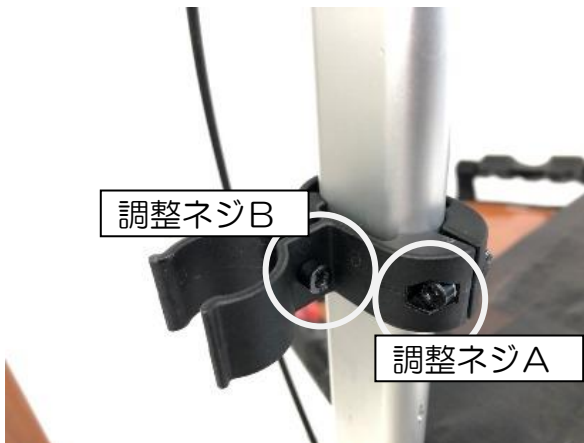
スローダウブレイキはネジを回転することで抵抗の強さを調整することができます。



警告

スローダウブレイキのレバーは途中で止めず、必ず下まで押し下げてください。

●杖ホルダーの使い方



杖ホルダーは下記の調整が可能です。

調整ネジA : ホルダーの高さ調整

調整ネジB : ホルダーの幅の調整

杖ホルダーは左右どちらのフレームにも取り付けが可能です。



調整ネジAを緩めると、ホルダーの高さを調整することができます。

調整後は、ホルダーが動かないように調整ネジAをしっかりと締めてください。



調整ネジBでホルダーの幅の調整をすることができます。

杖がホルダーから外れないように、直径に合わせて調整してください。



警告

歩行中に杖ホルダーから杖が外れないように杖のサイズに合わせて調整してください。



警告

杖ホルダーには、杖以外の物を使用しないでください。

日常のお手入れ

●保管のしかた

- * 雨ざらしにしないでください。金属部が錆びて故障の原因になる恐れがあります。
- * 高温になる場所には保管しないでください。故障や変形の原因になります。
- * 直射日光を避け、湿気が少ない雨やほこりのかからない場所に保管ください。

●清掃について

- * 車輪、プラスチック部品、金属部分の汚れは、水を含ませてよくしぼった布でふき取ってください。ひどい汚れは薄めた中性洗剤を含んだ布で拭いた後、水を含ませてよくしぼった布で数回拭きとって下さい。
- * 本体の清掃に中性洗剤以外のものを使用しないで下さい。部品の変質、劣化の原因になります。

●点検について

- * 製品の破損や異常を発見した場合は、ただちに使用を中止し、弊社もしくはお買い求めいただいた販売店へご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながる恐れがあります。
- * 改造や分解はしないでください。故障の原因になります。
- * タイヤの磨耗、ネジ類のゆるみ、部品の破損および作動不良がないかを適時点検し、必要に応じて交換をして下さい。

●製品の安全性を維持する為にも、決して分解はしないで下さい。

●万一故障が生じた場合には、お買い求め頂いた販売店か弊社までご連絡ください。

連絡先：ラックヘルスケア株式会社 06-6244-0636

仕 様

| | ロー | ハイ |
|-----------|-----------|------------|
| 全幅 | 620mm | 620mm |
| 全長 | 660mm | 660mm |
| ハンドル高さ | 760~880mm | 810~1030mm |
| 折り畳み幅 | 220mm | 220mm |
| ハンドル幅（内寸） | 460mm | 460mm |
| 座面高さ | 540mm | 620mm |
| 利用者最大体重 | 150kg | 150 kg |
| バスケット容量 | 5.0kg | 5.0 kg |
| 本体重量 | 5.8kg | 5.8 kg |
| タイヤ（直径×幅） | 200×32mm | 200×32mm |

LAC

ラックヘルスケア株式会社

〒542-0081

大阪府中央区南船場 2-10-2

TEL:06-6244-0636 FAX:06-6244-0836